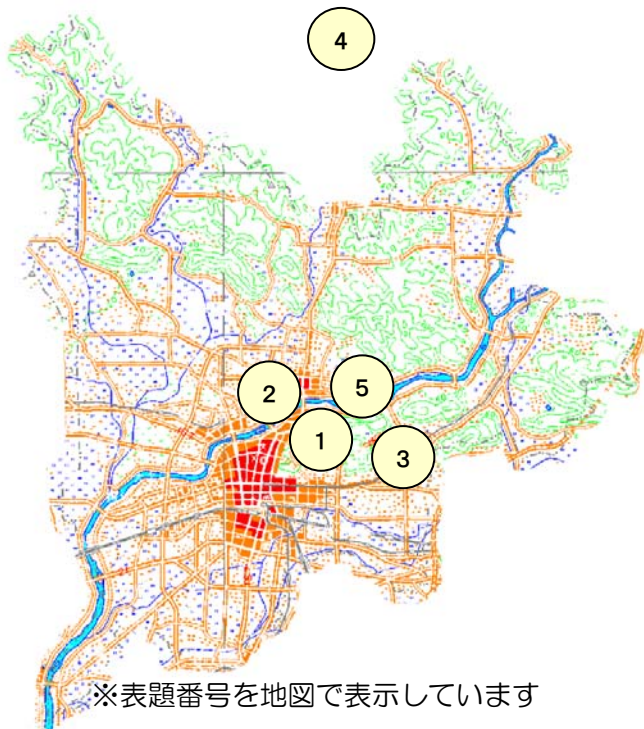


岐阜市自然・環境活動ニュース

2011年9月号

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。

岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。



※表題番号を地図で表示しています

①「金華山ワークキャンプ」が開催されました

7月16(土)17日(日)の2日間 金華山では愛知県立大学ボランティアサークル Ruff のメンバーが金華山サポーターズの協力のもとプレワークキャンプを行いました。

ワークキャンプでは、自然環境保全の体験活動として登山道の補修などを行いました。くい打ち作業や土のうづくりなど、初めての体験です。2日間の活動で百曲がり登山道の一部が整備されました。



〈整備された登山道〉

②「清流の国ぎふづくり県民大会」開催報告

7月18日(月・祝)に長良川国際会議場で「清流の国ぎふづくり県民大会」が開催されました。昨年6月に開催された「第30回全国豊かな海づくり大会」を

契機に、清流の保全の気運が高まってきました。

県民大会では、「森・川・海の連携(つながり)を活かした清流の国ぎふづくり」をテーマにパネルディスカッション、ぎふ清流環境賞の表彰、清流の国ぎふづくり宣言の発表などが行われました。

〈清流の国づくりワークショップ〉

県民大会に先立ち、午前中には岐阜県内から集まった子ども達による清流の国づくりワークショップが開催されました。

飛騨や東濃からの参加者に混じって、長良川流域からは岐阜市を中心に6月の流域学習会に参加した子ども達20名が参加しました。

流域クイズのあとグループに分かれて、森に落ちた一滴の一生を考えました。どのグループも、森林、や河川環境、日々の暮らしや地元の産業、海と流域のつながりや水の循環や大切さを表現した物語を作ってくれました。



〈ぎふ清流環境賞〉

ぎふ清流環境賞は、水環境の保全や利活用、教育に取り組む団体を表彰するもので、今年度新たに創設した制度です。表彰の対象となる団体は、県内を主たる活動の場とし、過去5年間以上継続して「清流の国ぎふづくり」の3つの柱である清流を「守る」、「活かす」、「伝える」活動に取り組んでいる団体です。

第1回の今回は、市町村や民間団体、県の関係部局などから推薦のあった環境保全団体、学校、業界団体など37団体から、ぎふ清流環境大賞1団体、ぎふ清流環境賞3団体、ぎふ清流環境相奨励賞1団体が選ばれました。

岐阜市からは「達目洞自然の会」、「天神川を考える会」がぎふ清流環境賞を受賞され、古田岐阜県知事より表彰されました。

おめでとうございます。



<清流の国ぎふづくり宣言>

清流の国ぎふづくりをわかりやすく伝えるために「清流の国ぎふづくり宣言」がつくられ、県民大会で発表されました。発表は、午前中のワークショップに参加した子ども達です。



<草野満代さんが達目洞を訪問>

パネルディスカッションでパネラーを務められた草野満代さんが県民大会終了後に達目洞を訪れました。自然の会の加納さん大塚さんの案内で、夏の夕暮れ、達目洞の自然を満喫されたようです。



③「大洞の湧き水で流しそうめん」

7月23日(土)大洞里山つくり会では、活動の後、里山の湧き水で「流しそうめん」を楽しみました。

里山内のある湧き水は水質検査を行い、飲み水として利用できるとわかりました。

活動の時だけでなく、散策に時にも地域の方々が利用できそうです。

里山の自然だけでなく、大洞の宝が一つ増えました。



④「長良川流域子ども交流会」開催報告

平成23年8月18日～20日の3日間、岐阜県郡上市白鳥町石徹白地区で、「長良川っ子集まれ! 石徹白の山里で源流の自然を体験しよう」が開催されました。長良川流域やその周辺の小学1年生から中学2年生の子供達52名が、郡上の山里 石徹白へ集まりました。岐阜市からのたくさんの子供達が参加しました。

到着後、石徹白川支流の前川で地元の石徹白小学校



の校長先生や石徹白漁協、スタッフの指導のもと、水生生物の捕獲や同定を行いました。

夏季にもかかわらず大型のカワゲラや清流魚であるイワナも捕獲されました。



2日目は和田山登山です。往復15kmの登山でしたが、小学校低学年の参加者も無事下山できました。林道の途中から、石徹白の集落を一望できる場所もあり、源流の森を満喫

しました。

3日目は、トウモロコシの収穫体験とイワナのつかみ取りです。トウモロコシとイワナを昼食で食べました。夜には地元の皆さんから地元につながる民話を聞いたり、石徹白小学校の子ども達との盆踊りによる交流会など、源流の山里の自然や暮らしを体験できたのではないのでしょうか。



⑤「長良川のかわらであそぼう」開催報告

8月27日(土)に8月27日(土)に、長良川鶴飼大橋付近の川原にてしぜん、生きものクラブ(長良・自然とくらしの楽校)の活動「長良川のかわらであそぼう」が開催されました。

水質調査、川原の石調べ、川原の自然を題材にしたフィールドビンゴ、川の生き物調べ、川原の清掃活動と内容盛りだくさんです。

まずは水質調査から岐阜県環境管理技術センターの方の説明を受けパックテストを用いた水質検査を行いました。

水質と水生生物の関係も学びました。

当日は少し増水していましたが、サポートの皆さんの慎重な安全管理のおかげで、安全に遊ぶことができます。

森や川に限らず、子ども達に自然を体験させるには安全管理が必須です。スタッフの陰の努力が子ども達の笑顔につながります。



—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

発行者：岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL：058-265-4141 (内線：6451) FAX：058-267-1374

Email：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>